

## 奨学生近況 -ハイスクール・カレッジ学生のクリスマスカードから-

(小学生からも、簡単なメッセージが添えられた木の葉や皮を使った手作りカードが届きました)

<p>スペンサー (NDMU コンピューターコース1年)          「・・・コンピューターコースを選択しましたが、とても目が疲れて、頭痛もひどいので自分にはこのコースは合わないと思うので、教育課程への転科試験を受けるつもりです。将来は、教師として、子どもたちの指導や、コミュニティ住民のために働きたいと思います。・・・」</p>	<p>バー吉ニア (NDMU 歴史専攻3年)          「・・・法事の際は、父を思い出してさびしくなりましたが、今は大丈夫です。あまり成績はよくなかったけれど、必ず卒業までがんばると約束します。そして、家族やコミュニティーの人々のために働きたいと思います。・・・」</p>
<p>メリアン (NDMU 図書館司書コース1年)          「ハイスクールでも多くのことを学びましたが、今はまた、カレッジで勉強できてしあわせです。私の父母が担うべき役割を、あなたが自分の子供のように私を支えてくれています。・・・まだはつきりしませんが、今の司書コースから教育課程に転部するかもしれません。約束は守れないときもありますが、卒業までベストを尽くすことだけは約束します。」</p>	<p>レナリン (NDスララハイスクール4年)          「・・・あなたに文化センターで行われたダンスのことをお伝えしたくて授業中も手紙を書きたくなりました。11月26日の町の創立記念日にビラードダンスを踊りました。そのあと寮に戻り着替えて、担当の場所の掃除をしました。朝はいつも4時半に起きて担当の仕事をして、学校に行きます。・・・」</p>

\* 6月の新学期開始以降、中途退学は3名。寮の塀を越えて3回無断夜間外出をしたカレッジ2年のマリッサ、結婚が決まった小学校3年〔13歳〕のナイリン、長欠だった小学校3年のジョエイです。

## 終盤に入った伝統織物振興事業〔女性自立支援事業〕

FIDRの助成を受けて、現地の先住民女性性の組合COWHEDを通じて実施している事業は、技術研修が終わり、品質管理、市場のニーズ、商品販売の知識の勉強に入っています。

事業で購入したパソコンとカメラを使った商品カタログもできました。まだ改良の余地はありますが、本格的販路拡大に向けた貴重な一歩です。

今回は伝統織物ティナラク織技術が良く保存継承されているチボリ族の女性対象ですが、よく似た文化を有するビラード族女性にも希望があれば、伝統技術を生かした自立支援をと考えています。しかし、民族の文化継承の必要は認めているものの、現金収入源としてあまり期待できないと、現CMBディレクター・デオ神父はこの種の事業推進に消極的です。

<p>日本でも、イベントを通じて民族の伝統技術アピールしました          10月は、日比谷での国際協力フェスティバルに続き、横浜戸塚の女性フォーラム及びかながわ県民センターで、11月には、横浜藤が丘カトリック教会でと、各種フェスティバル、バザーで、現地の伝統工芸品展示即売をしました。縞模様に見えるティナラク織りデザインに、年配の女性を中心に多くの来場者が足を止め、バッグ等に対するデザインや縫製の助言もいただきました。</p>	 <p>開店準備中一日比谷のフェスティバルで</p>
--	---

## コミュニティー便り -ラムブソンから-

	<p>ラムブソンは、マリオ先生の指導力もあり、住民組合(FIDR助成事業で育成)がもっとも順調に機能しているとして、再三紹介しましたが、同事業で植えた各種用材、果樹苗のうち、一本のバグラスが、予想を越えた成長振りを見せて、住民たちを喜ばせています。今後クリニック建設計画もあるラムブソンのネックは、狭く急峻な集落に至る道路問題。長雨のあとは、馬も足を滑らせて、セメントなど重量のあるものは運べません。(写真は、2年間で木陰を作るまでに伸びたバグラスの苗と子供達)</p>
---	---